



高齢者インフルエンザ・新型コロナウイルス感染症予防接種説明書 (令和6年度版)

予防接種を受ける前に必ず読みましょう。

	高齢者インフルエンザ	新型コロナウイルス感染症
対象者	多久市民で接種当日 ①65歳以上の人 ②60歳以上65歳未満の人で心臓、じん臓又は呼吸器の機能に自己の身の日常生活が極度に制限される程度の障害を有する人、又はヒト免疫不全ウイルスによる免疫の機能障害により日常生活がほとんど不可能な程度の障害を有する人(身体障害者1級程度)	
接種期間	令和6年10月1日～ 令和7年1月31日	令和6年10月1日～ 令和7年3月31日
費用	自己負担 1,300 円	自己負担 2,100 円
接種方法	医療機関に予約をして接種してください。予診票は医療機関にあります。 (※接種券の送付はありません。)	
接種場所	県内の登録医療機関 <div style="display: flex; align-items: center; margin-top: 5px;"> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 2px; font-size: 8px; margin-right: 5px;"> 多久市内で接種できる医療機関は裏面または市のホームページをご覧ください </div> <div style="display: flex; gap: 10px;">   </div> </div> ※県外の施設や病院で接種を希望される場合は、接種前に市と施設(病院)が契約を結ぶことで自己負担が 1,300 円(インフルエンザ)、2,100 円(新型コロナ)で接種できます。接種前に健康増進課にご連絡ください。	
どんな病気？	インフルエンザとは？ インフルエンザウイルスに感染することによって起こります。インフルエンザにかかった人が咳やくしゃみなどをする事により、ウイルスが空気中に広がり、それを吸い込むことによって感染します。 インフルエンザの流行は、通常、初冬から春先にみられますが、ときには春期・夏期にもみられます。 典型的な症状は、突然の高熱・頭痛・関節痛・筋肉痛などで、のどの痛み・咳・鼻水などもみられます。普通の風邪に比べて全身症状が強いのが特徴です。 さらに、インフルエンザが大きく流行した年には、特に高齢者の冬季の死亡数が普段の年より多くなるという点でも普通の風邪とは異なります。	新型コロナウイルス感染症とは？ 新型コロナウイルスに感染することによって起こります。感染者の口や鼻から、咳・くしゃみ・会話等のときに排出されるウイルスを含む飛沫、又はエアロゾルと呼ばれる更に小さな水分を含んだ状態の粒子を吸入するか、感染者の目・鼻・口に直接的に接触することにより感染します。 エアロゾルは空気中にとどまりうることから、長時間滞在しがちな、換気が不十分で、混雑した室内では、感染が拡大するリスクがあることが知られています。 また、ウイルスが付いたものに触った後、手を洗わずに目・鼻・口を触ることにより感染することもあります。 WHO は、新型コロナウイルスは、プラスチックの表面では最大 72 時間、ボール紙では最大 24 時間生存するなどとしています。

	高齢者インフルエンザ	新型コロナウイルス感染症
予防接種の有効性	インフルエンザ予防接種の有効性は世界的にも認められています。我が国においても高齢者の発病防止や特に重症化防止に有効であることが確認されています。予防接種を受けてからインフルエンザに対する抵抗力がつくまでに2週間程度かかり、その効果が十分に持続する期間は約5ヶ月間とされています。より効率的に有効性を高めるためには、毎年インフルエンザが流行する前の12月中旬までの間に接種を受けておくことが望ましいとされています。	新型コロナワクチンについては、有効性や安全性が確認された上で薬事承認されており、さらに、国内外で実施された研究などにより、新型コロナウイルス感染症にかかった場合の入院や死亡等の重症化等を予防する重症化予防効果が認められたと報告されています。
予防接種の副反応	予防接種の注射の跡が、赤みを帯びたり、腫れたり、痛んだりすることがありますが、通常2～3日のうちに治ります。また、わずかながら熱が出たり、寒気がしたり、頭痛や全身のだるさなどがみられることもあります。通常2～3日のうちに治ります。また、接種後数日から2週間以内に発熱・頭痛・けいれん・運動障害・意識障害の症状が現れる等の報告があります。非常にまれですが、ショックやじんましん、呼吸困難などが現れることがあります。	新型コロナワクチン接種後、体内で新型コロナウイルスに対する免疫ができる過程で、様々な症状(注射した部分の痛み・発熱・倦怠感・頭痛・筋肉や関節の痛み・寒気・下痢等)が現れることがあります。こうした症状の大部分は、接種の翌日をピークに発現することが多いですが、数日以内に回復していきます。
予防接種を受ける前の確認	この高齢者インフルエンザ予防接種および新型コロナウイルス感染症予防接種説明書をよく読んで、必要性や副反応についてよく理解しましょう。気にかかることや分からないことがあれば、予防接種を受ける前に担当の医師や看護師、健康増進課に質問しましょう。十分に納得できない場合には、接種を受けないでください。 予診票は接種をする医師にとって、予防接種の可否を決める大切な情報です。基本的には接種を受けるご本人が責任をもって記入し、正しい情報を接種医に伝えてください。また、現在治療中の病気がある方は事前にその病気の主治医にインフルエンザ予防接種および、新型コロナウイルス感染症予防接種を受けてよいか必ず確認してください。 法律に基づくインフルエンザ予防接種および新型コロナウイルス感染症予防接種はあくまでも、 <u>ご本人の意思に基づいて接種を受けるもの</u> なので、説明と同意(インフォームドコンセント)がない場合には、医師は接種を行いません。接種を希望する場合やワクチンの種類を選ぶ場合も十分に医師から説明を聞き、理解をした上で予診票のインフルエンザ予防接種希望書および、新型コロナウイルス感染症予防接種希望書に自署して接種してください。 なお、新型コロナウイルスワクチンとインフルエンザワクチンは同時接種が実施可能です。実施については、担当の医師にご相談ください。	
予防接種を受ける際、医師とよく相談すべき人	① 心臓病、じん臓又は呼吸器の機能に自己の身の日常生活が極度に制限されている程度の障害を有する人 ② ヒト免疫不全ウイルスにより免疫の機能に日常生活がほとんど不可能な程度の障害を有する人	

<問い合わせ先> 多久市 健康増進課 電話 75-3355 ※裏面もご覧ください

高齢者インフルエンザ・新型コロナウイルス感染症予防接種説明書(令和6年度版)

多久市内接種医療機関（多久市外の接種医療機関は直接医療機関に尋ねるか、多久市ホームページをご覧ください。裏面にQRコードあります。）

	高齢者インフルエンザ	新型コロナウイルス感染症
予防接種を受ける事ができない人	<p>① 接種当日、明らかに発熱のある人（一般的に、体温が37.5℃を超える場合を指します。）</p> <p>② 重篤な急性疾患にかかっている人 急性の病気で薬を飲む必要のあるような人は、その後の病気の変化が分からなくなる可能性もあるので、その日は見合わせるのが原則です。</p> <p>③ 予防接種の接種液の成分によって、アナフィラキシーショックを呈したことが明らかな人 「アナフィラキシーショック」とは通常接種後約30分以内に起こるひどいアレルギー反応のことです。発汗、顔が急にはれる、全身にひどいじんましんが出る、吐き気、嘔吐（おうと）、声が出にくい、息が苦しいなどの症状に続き、血圧が下がっていく激しい全身反応です。</p> <p>④ 過去のインフルエンザの予防接種で、接種後2日以内に発熱のみられた人及び全身性発疹（ほっしん）等のアレルギーを疑う病状を呈したことがある人</p> <p>⑤ その他、医師が予防接種を行うことが不適当な状態と判断された人</p>	
受けたくない場合	<p>接種医の説明を十分聞いた上で、ご本人が接種を希望しない場合、家族やかかりつけ医の協力を得てもご本人の意思の確認ができなかったため接種をしなかった場合、当日の身体状況等により接種をしなかった場合等においては、その後、インフルエンザや新型コロナウイルス感染症に罹患、あるいは罹患したことによる重症化、死亡が発生しても、担当した医師にその責任を求めることはできません。</p>	
起こった場合	<p>予防接種の後まれに副反応が起こることがあります。また、予防接種と同時に他の病気がたまたま重なって現れることがあります。予防接種を受けた後、接種部位が痛みや熱をもってひどく腫れたり、全身のじんましん、繰り返す嘔吐、顔色の悪さ、低血圧、高熱などが現れたら、すぐに医師（医療機関）の診療を受けてください。意識障害、呼吸困難等の重篤な症状の場合は、119番へお掛けください。</p>	
健康被害の救済制度	<p>定期の予防接種によって引き起こされた副反応により、医療機関での治療が必要になったり、生活に支障がでるような障害を残すなどの健康被害が生じた場合には、予防接種法に基づく補償を受けることができます。健康被害の程度等に応じて、医療費、医療手当、障害年金、葬祭料の区分があり、法律で定められた金額が支給されます。葬祭料以外については、治療が終了する又は障害が治癒する期間まで支給されます。ただし、その健康被害が予防接種によって引き起こされたものか、別の要因（予防接種をする前あるいは後に紛れ込んだ感染症あるいは別の原因等）によるものなのかの因果関係を、予防接種・感染症医療・法律等、各分野の専門家からなる国の審査会にて審議し、予防接種によるものと認定された場合に補償を受けることができます。</p>	

病院名	電話番号	住所	同時接種	新型コロナウイルス感染症予防接種使用ワクチン				
				ファイザー(mRNA)	モデルナ(mRNA)	第一三共(mRNA)	武田薬品工業(組換えタンパク)	MeijiSeikaファルマ(mRNAレプリコン)
池田医院	71-9355	北 山犬原	可	○	×	×	×	×
江口医院	76-2137	東 別府2区	可	○	×	未定	○	×
太田医院	74-3236	北 砂原	要相談	○	×	×	○	×
多久市立病院	75-2105	多 東の原	PMのみ可	未定	未定	未定	未定	未定
多久生協クリニック	76-3177	東 古賀3区	可	未定	×	×	○	×
中多久病院	75-4141	北 中多久	可	○	未定	未定	未定	未定
諸江医院	75-3880	北 砂原	可	○	未定	○	未定	未定
諸隈病院	74-2100	北 中多久	可	○	×	×	×	×
りゅう整形外科	76-2101	東 別府2区	可	○	×	未定	未定	未定

(50音順)

(※9月17日時点の情報となります)

日頃からの感染対策を心がけましょう

インフルエンザや新型コロナウイルス感染症は空気中に拡散されたウイルスによって感染します。高齢者や基礎疾患のある方が感染した場合は、重症化する恐れがあります。感染対策として「手洗い（手指消毒）」や「換気」、「マスクの着用を含めた咳エチケット」等が効果的です。日ごろから、十分な栄養や休息をとることも大事です。また流行しだしたら、人込みを避け外出時にはマスクを着用しましょう。また予防接種も有効な感染対策ですので、流行時期より早めの接種をご検討ください。



～帯状疱疹について～

帯状疱疹は、水痘（みずぼうそう）と同じウイルスで起こる皮膚の病気です。多くの方が子どもの頃に感染する水痘ウイルスが原因で起こります。水痘が治ったあとも、ウイルスは体内に潜伏していて、過労やストレスで免疫力が低下すると、ウイルスが再び活性化して、帯状疱疹を発症します。

帯状疱疹を予防するためには…

免疫が低下しないよう、日頃の体調管理が大切です。

- ▶1日3食、バランスの良い食事
- ▶質の良い睡眠と十分な栄養
- ▶適度な運動
- ▶帯状疱疹の予防接種について・・・50歳以上の人は、帯状疱疹の予防接種を受けることができます。

※現在は任意接種ですので接種費用は全額自己負担となります。接種費用等についてはかかりつけの医療機関にお尋ねください。（現在国において、定期接種化の検討中です）

<問い合わせ先> 多久市 健康増進課 電話 75-3355 ※裏面もご覧ください